



歴史は繰り返すとはいうが、最近実感する事例が多い。確かにやってみなければわからないことも多く、再びの反省によって過去に戻ることも多いのはしかたないことだ。ただ私が不安に思う事は、その現象が途中経過というか、途中の一現象にすぎないのに結果だと思い込んでしまい、右往左往してはいないかという事だ。時代の状況に合わせてとは言うものの無責任な感じがしないでもない。

特に教育面での方向性の不安定さは、まさに迷いさえ感じさせる。かつて学歴偏重の是正策として、週休5日制が導入された。「心の豊かさ」を個人や家庭に取り戻そうと、どちらかと言えば人間教育に力点が置かれていったのだと思っている。

しかし今再び他国との比較などを根拠として、学力の低下が懸念されるようになってきた。小学校からの英語教育も始まり、幼稚園からの塾通いも盛んになってきているらしい。国際人として活躍できる人間を育てるためらしく、それはそれでよいのだが、日本は日本の文化を大切にしながら、知、徳、体のバランスのとれた人間教育を目指してほしいものだと思うことだ。そんなあり方の中で、自然に秀でてくるものを伸ばしてやるのが、大人や社会の大きな責任ではないだろうか。あてのない急行列車に乗らせてはいけないと、改めて思う事だ。

## ひとりになるふじのつぼ (日常の雑談から)

最近独居、あるいは老夫婦のみの、ご家庭が多くなった。月命日にお伺いしているご家庭においても半数を超えるほど。気が付けば二世帯、三世帯のご家庭はほんのわずかとなり、さまざまな意味において将来が案じられることだ。

ナンクロが趣味で、ボケ防止にいつも冗談を言いながら、やはり今日も必死に取り組んでおみえになるこの女性と、いつものようにお参りを済ませ、お茶をいただきながらの雑談が始まった。普段はとても明るく冗談も飛び出して、とてもお幸せのように見えるのだが、当然とはいえやはり悩みもありのようだ。

人間一人では生きられないのは言うまでもないことだが、たとえ子供がいて、その孫がいたとしても、そしてまた多くの友人がいたとしても一人での暮らしはやはり寂しいものだ、しみじみとおっしゃる。夫婦そろってしていることが何よりの事。どんなに周りが良くしてくれたとしても、満たされない気持ち、気持ちを暗く、不安にさせる。

ある人が言った。「後家御法楽(放棄)」でいいねと、「この漢字正確なのかどうか分からないが、「勝手にままに過」せる」「こと」を言っているのだから。しかしこのかた口へ「それは私の立場を理解できない、他人の言うこと、なにかいじめられているようで、とても悔しかった」と「あなたもそういう立場になってみなさい。きっと分かるから」と言い返したかったが、実は言えなかった」と(笑い)

言われた方は悪気もなく、「夫への気遣いと、炊事、洗濯、雑事に追われる解放」だけを念頭において言われたのだから、本人にはとてもつらい言葉だったようだ。

さてこの高齢者社会、どう生きる。この身を置き換えることは困難だけに、先の見えない不安と戸惑いが心を曇らせる。心を晴らす拠り所は一体どこに？

# 日帰り研修旅行参加者募集

# —瑞泉寺参詣・五箇山方面見学—

期 日 平成 26 年 4 月 15 日 (火)

日 程 マイクロバスにて

募集人員 20名

費 用 6,000円程度(バス代、駐車料金、拝観料、布施、昼食代等)

集合場所 光受寺駐車場

持ち物 数珠・常用のお薬等

行 程 詳細は未定 (適宜休憩を入れます)

申し込み

光受寺へ 0584-62-5722

お気軽にご参加ください。お仕事のある方も年休をとってでも行ってみる価値あり?とまでは申しませんが、時期的に「さくら」も見られるかもしれません。予定にはありませんけどね。是非ご参加を!

## 秋には本山へ行こう

日程等は未定ですが、一泊研修です。軽作業の奉仕活動をしたり、法話を聞いたり、他県の人との交流もあつたりで、世界が広がる感じがします。お剃刀も希望者はできますよ。



平成21年  
御影堂内

## 春季永代経

三月二十一日 (春分の日)

法話

午前 森 孝照師  
午後 住 職

春まつららとなり頃。

光受寺において例年の如くに永代経を、お勤めさせていただきます。ごき人をお忍びいただきながら、ご先祖からの願いを聞く機会にしていただけたらと願っています。

## 春の催しのご案内

光受寺



飛龍梅

左記案内状の如く、本年も光受寺本堂を借用して、書道展を開催致します。また例年の如くに枝垂れ梅観展、つり雛など展示いたします。春一番の花だより。椿に水仙に寒あやめと光受寺では境内を賑わしてくれませんが、なんとこれも当寺では梅。

紅白の枝垂れが今年もきれいに咲いてくれそうです。開花時期についてはおおよそ例年どおりのような気がいたします。時期になりましたらぜひ多くのご門徒の方々に観ていただけたらと思っております。

満開時にはライトアップも計画いたしておりますのでお楽しみいただけたらと思っております。

観梅展 二月二十五日(月)～三月十一日(日)

ライトアップ 三月八日(土) 雨天九日(日)

同時開催 秀瑤書院展 本堂

## 学習会 参加者募集。

今年も継続して「お文」を学んでいきます。

毎月第一土曜

7時から

8時半まで

第31回

## 秀瑤書院展

■書と墨彩画  
■芭蕉を訪ねて (会員合同作品)

会期 3月1日(土)～3月9日(日)

午前10時～午後4時

会場 光受寺 大垣市瑞泉寺町2-1-1

0584-62-5722

大垣市瑞泉寺町2-1-1

主催 秀瑤書院

主宰 柴 潤 秀 瑤

同時開催

したれ梅観梅 (飛龍梅)

2月22日(土)～3月15日(土)

ライトアップ

3月8日(土) 18:00～20:00

雨天時は9日(日)

主催 光受寺

つり雛・おひなさま展示 (光受寺ミニギャラリー-飛龍梅)

2月22日(土)～3月9日(日)

(つり雛は小町めぐり協賛)

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

後援 大垣市・大垣市教育委員会・大垣市観光協会

四月からは若院が皆さまのお宅へ、月命日にお伺いする機会が増えると思っております。よろしくお願いたします。

新聞原稿募集しています。内容は自由。ご協力のほどよろしく。